

令和3年度 学校評価 自己評価書(2学期)

1 学校の重点目標

- 学校経営, 学年・学級経営の充実〈生きる力を育てる教育課程の工夫・改善〉
- 豊かな学力の育成〈思考力, 判断力, 表現力等の向上を図る授業の創造〉
- 豊かな心の育成〈児童の深い理解と情報の共有化, 道徳教育の充実, 人権教育, 特別支援教育の推進〉
- 健やかな体の育成〈計画的体力作りの推進, 学校事故・交通事故・不審者事故防止の指導徹底〉
- 教職員の資質向上〈指導力の向上, 業務改善, 職員研修の充実, 服務規律の厳正確保〉
- 環境の整備・充実〈花いっぱい, 清潔, 整理整頓〉
- 三者連携の推進〈地域に根ざした信頼ある学校〉

2 課題と改善策

評価項目	4段階評価		評価結果と改善方策
	職員	前学期比	
I 学校経営, 学年・学級経営の充実			
1 「楽しくてやりがいのある職場」	3.1	↑ 0.2	・学年部で協力し合いながら学年の行事や学年経営を進めることができている。 ・人権尊重の視点を意識した言葉かけ等ができている。
2 人事評価記録書を意識しての実践	3.1	→ 0.0	
3 人権尊重の視点に立った学年・学級経営	3.3	↑ 0.2	
II 確かな学力の育成			
1 学習のしつけの定着	3.0	↑ 0.2	・学年で共通理解・共通実践しながら学習のしつけを粘り強く行っていく必要がある。 ・算数の少人数指導が始められた学年があり, ゆとりをもって指導できるようになった。
2 単元・まとめテストで80%以上の達成	3.1	↑ 0.3	
3 思考力・判断力・表現力の向上を図る授業の実践(主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善)	2.9	↑ 0.3	
4 朝読書の充実と学年別読書冊数を設定した取組	2.9	↑ 0.1	
III 豊かな心の育成			
1 揃えることの大切さ(挨拶先手, 言葉遣い, 靴箱の靴)の指導の徹底	3.0	↑ 0.3	・トイレのスリッパなど「そろえる」ことに対してのさらなる声かけや継続した指導の必要性を感じる。 ・指導・支援が必要な児童に対して, 複数の教師の目で見たり指導したりすることができている。 ・支援学級担任と交流学級担任が連携を図りながら支援していくことで児童の成長が見られた。
2 深い児童理解, 納得させる指導と見届け, 毅然とした指導	3.1	↑ 0.1	
3 各教科等における道徳教育, 考え議論する道徳	3.0	↑ 0.1	
4 困り感のある児童に対する共通理解, 共通実践	3.1	↑ 0.1	
5 特別支援教育の推進(合理的配慮, 支援体制の充)	3.2	↑ 0.1	
IV 健やかな体の育成			
1 教科体育の充実, 一校一運動の推進	2.9	↑ 0.4	・感染症防止のため指導をさらに徹底する。 ・昨年度よりけがは減少しているが, まだ多い。 ・長縄を練習する学級が増え大会に向けて雰囲気ができつつある。
2 けがや病気の予防に努める指導	3.1	↓ -0.1	
3 危機意識の高揚と自己ゼロの達成	3.2	→ 0.0	
4 食育の推進と給食指導	3.1	↑ 0.2	
V 教職員の資質向上			
1 児童に接する時間の確保と授業の充実を図るための業務改善	3.0	↑ 0.1	・業務改善を継続して進め, 児童に接する時間が確保を図っていく。 ・テーマ研修では3班に分かれて実践していきながら, それを全体へとつなげる方法で成果をあげることができた。
2 職員研修への意欲的取組	3.3	↑ 0.2	
3 職務規律の厳正確保	3.7	→ 0.0	
4 健康管理	3.3	→ 0.0	
VI 環境の整備・充実			
1 自然愛護, 生命尊重の意識高揚を図る指導	2.7	↓ -0.2	・落とし物が多いので, 持ち物を大切にすることの意識の向上を図る必要がある。
2 整然とした学習環境	3.1	↑ 0.2	
VII 三者連携の充実			
1 PTAと連携した基本的な生活習慣や学習習慣の確立, 家読の推進, 家庭での仕事の励行	2.9	→ 0.0	・PTA, 教育相談, 連絡帳, 電話等の機会を生かしながら家庭との連携を今後も継続してい

3 次学期(年度)に向けての取組

- 9月の時差登校からスタートした2学期であった。授業時数に余裕がない中, その後は予定されていた多くの行事を対策を講じながら実施することができ充実した2学期だった。
- 2学期に予備時数が少なかつたため, 3学期は教育課程が完全実施されているか検証しながら, 1年間の学習内容の定着を図っていく。